

2021年10月6日午後、東京都立飛鳥高等学校にて、2年生、240名を対象にキャリア教育のための講義を行いました。当地区のロータリークラブ・ロータリアンは高校生のキャリア教育のために就業体験を積極的に受け入れてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で前年度より受入れを中止しています。その代替として、東京都教育庁と調整しての実施となりました。講義内容は会社・事業の紹介、経営者になるまでと経営者としてのやりがいや苦勞、ロータリアンとしての活動などです。6名のロータリアン（東京麹町ロータリークラブ、東京王子ロータリークラブ、東京本郷ロータリークラブ、東京江戸川ロータリークラブ、東京足立ロータリークラブ、東京青梅ロータリークラブ）が担当しました。職業は発酵機械の製作所、空調や給排水などの建設設備管理、司法書士法人・行政書士法人、社会保険労務士法人、シャッターの製造販売、工務店でした。



ロータリアンが経営者として伝えた言葉は以下のとおりです。

「経営者は自分自身で判断、自分自身が商品。だから、楽しい。経営ほど面白いことはない」

「経営者は自由にできます。しかし、責任は自分にはね返ってきます。保障はありません。だからこそ、やりがいがあります」

「経営者の役割は強いチームをつくることです。そのためには、目標が明確になっていること、共有することが必要です。一朝一夕ではなく、日々の積み重ねにより行います。結果として売上も結びつきます」

「新しい材料で新しい物を造ること、オリジナルの物を作ることに、面白さ、楽しさがあります。そのためには、疑問を持って、疑問を解決していく。どんなものにも好奇心を持つことです」

「地域の中でお仕事をしているから、地域が発展するように、建設工事で盛り上げていくお手伝いをしています。そういった施工実績についてお声がけをいただくと、お役に立てていることを実感することができます」

「世間・世の中・お客様・協力会社さん・仕入先さん・社員・社員の家族など、多くの人から感謝される仕事。その中でも、お客様からのありがとうが一番うれしいです」

なお、コロナ対策として、学校内のオンライン会議システムを使用し、別教室にいる生徒たちへ講義をリアルタイム配信しました。

画面越しだったので伝わっているか不安ではありましたが、後日、生徒たちから、次のとおりの感想をいただきました。



「社長さんの仕事に対する真剣さ、お客さんや一緒に働く仲間をすごく大切にしていることがすごく伝わってきました。経営者の苦勞について聞いた時は、すごくたいへんそうだなと思いました、その後の経営者となつての喜びを聞いた時は、たいへんな仕事でも楽しそうに、やりがいもって仕事をしていて、自分も仕事をするようになった時は、常に笑顔で楽しく仕事をしたいと思いました」

「お客様の安心と社員の幸せという言葉が印象に残りました。私は会社というものはお客様の安心だけが大切なことというイメージを持ってしまっていたのですが、当たり前で社員の幸せというのも大事だと学びました。社員の方だけでなく大工さんなど協力業者が一丸となっているのが伝わりました。私は将来、会社の人全員が仲良くできるようなところに就きたいと思っています」

「私は、社長さんの社員を大切にする姿勢にととても感銘を受けました。何か大きな物を造るには、一人ではなくたくさんの人の力が必要で、その人たちのことが大切にできることがとてもすごいと思いました。私は、自分や家族以外の人、友だちや先生のことでも大切にできるような人間になりたいと思いました」

「やったことのないことでも、毎日の積み重ねで成果を出すことが大切だと思いました」

「人に認めってもらうために、人より努力する、人より強い何かを持つ、結果を出すということはとても大切だと思いました。部活動でも、人より努力して信頼されるような人になりたいと感じました」

「大人の方に相談するとまた違った視点で考えられると分かったので、実践していきたいです」

「普段なにげなく食べているお菓子が作られる機械も、それを造ったエンジニアさんのこだわりや思いが込められているんだなと思った。たくさんの人が関わっているのだなと感動した」

「起業には、少し興味があつて、たいへんなことも多いと思うけど、社長さんが「楽しい」とか「やりがいがある」とおっしゃっていたので、より一層挑戦したい気持ちになりました。得意なことやできることをこれから少しずつ増やしていきたいと思います」

生徒たちに、ロータリアンからの思いが伝わっていました。自分のキャリアについて考える機会・ヒントとなるとともに、高校生としての日々の実践やビジネスへの理解につながっていました。